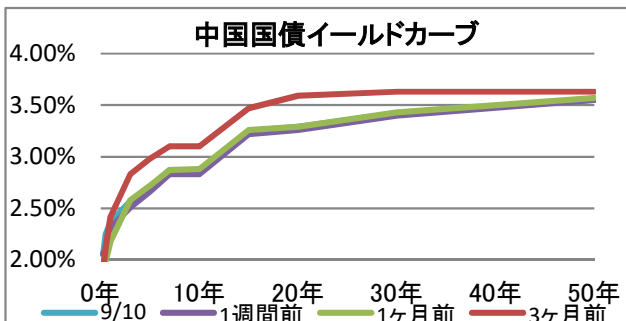
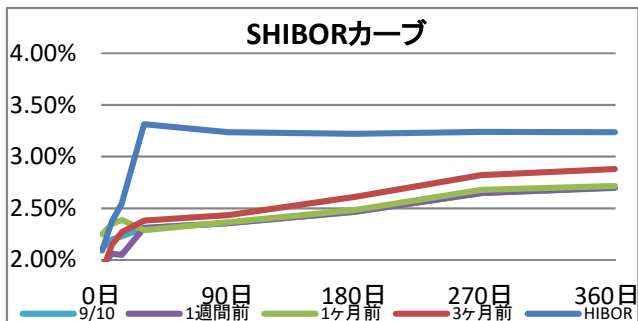


## ①市場概況

基準レート		2021/9/10	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4566	-0.0011
	JPY/CNY	5.8812	0.0083
SHIBOR	3M	2.3570%	+0.0010%
国債利回り	10年	2.87%	+0.04%
上海総合指数		3,703.11	+121.38



### (1) 概況

前週末の米雇用統計が雇用者数の回復鈍化を含む経済指標の悪化から欧米の株式市場が下落する一方、中国では金融当局者の対外開放姿勢表明や7ヶ月ぶりの米中首脳会談を受けて大幅に上昇している。

中国金融市場では、共同富裕に対する懸念が後退し、政府の民間経済支援姿勢や対外開放推進姿勢が確認されたことや米中首脳会談を受けて株式市場は続伸し、債券市場では金融緩和期待の後退により債券利回りはやや上昇している。

中国では、金融を含む対外開放政策を積極化する姿勢を強めており、中国証券業監督管理委員会は国外上場企業監督に関する国際協力や香港活用を含む資本市場開放促進を表明し、理財通や債券通（南向き）の早期実現に向けた対応を進めている。中国人民銀行は、当面の資金需給が安定するとの見通しを示して金融緩和期待を抑え込む一方、中小企業向けに3,000億元を供給する再貸出等を実施を決めている。

### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日1,300億元に対し、新規リバースオペ500億元を供給し、差額800億元を吸収している。15日に期日が到来するMLF6,000億元への対応が注目される。

### (3) 主な経済指標

- ・CPI (8月) は+0.8% (7月+1.0%) と、食肉価格下落による食品価格を主因に一段と低い伸びとなった。
- ・PPI (8月) は+9.5% (7月+9.0%) と、燃料を含む原材料価格の上昇により一段と高い伸びとなった。仕入れ、出荷ともに価格が上昇しており、仕入れ価格の上昇が販売価格の上昇を上回る状況が続いている。
- ・新規人民元融資 (8月) は市場予想を下回る伸びとなり、社会融資総量 (8月) は2018年12月以来の低い伸び。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.1090%	2.1000%	2.1800%	
1W	2.1990%	2.4000%	2.2000%	2.0000%
2W	2.2270%	2.6000%	2.2300%	
1M	2.3120%	2.5000%	2.5500%	2.4000%
3M	2.3570%	5.0000%	2.5300%	2.3900%
6M	2.4670%	2.8000%		2.6000%
9M	2.6490%			2.6500%
12M	2.6980%			2.6900%

月初とあって資金需給に比較的余裕はあるものの、中国人民銀行の調節が前月末の供給増額分を回収したことや四半期末への意識に加え、追加金融緩和への期待後退により金利水準は若干上昇。ターム物の出合いは引き続き1ヶ月 (2.40%台) と2ヶ月 (2.50%前後) を除き限定的。

NCDは、1年物を中心に活発な取引が続いている。ターム物の金利水準は中国人民銀行の金融政策維持姿勢が確認された週後半にやや上昇し、1ヶ月と3ヶ月が2.3%台後半、6ヶ月が2.58%前後、1年が2.68%を中心に取引されている。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.23%	0.25%
6M	0.33%	0.35%
12M	0.40%	0.45%

四半期末が意識されているものの資金需給に大きな変化はなく、ターム物は1ヶ月は0.10%前後で取引され、3ヶ月は0.25%がオファーとなっている。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.05%	2.12%	2.43%	2.48%	2.78%
6M	2.25%	2.27%	2.55%	2.63%	2.93%
1Y	2.37%	2.40%	2.67%	2.71%	3.03%
3Y	2.57%	2.76%	2.95%	2.88%	3.88%
5Y	2.71%	2.97%	3.35%	3.41%	4.30%
10Y	2.87%	3.21%	3.63%	3.71%	4.62%

債券市場では、物価指数が区々の結果となり、景気回復減速懸念が根強い状況ながら、中国人民銀行高官の発言により緩和期待が後退したことから上値重く小幅な値動きに終始した。

イールドカーブは、利回り水準は概ね変化はなかったものの、追加金融緩和期待の後退により利率債利回りが小幅上昇に転じる一方、信用債は劉鶴副首相の民間経済支援発言もあってほぼ横ばいとなったことからクレジットスプレッドはやや小幅ながら縮小に転じている。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	28.6 / 28.6
1M	194.1 / 195.0
3M	464.0 / 468.0
6M	894.0 / 899.0
9M	1284.0 / 1286.0
12M	1668.0 / 1675.0

対ドル基準レートは、6.4566週末比-11pipsのドル安元高、対円基準レートは5.8812と同+83pipsの円高元安と、材料難から小動きとなった状況を反映した設定となっている。国内市場では、長期的なドル高期待は強いものの、中国政府の金融市場開放姿勢等への期待もあって金曜日には一時6.44台を割り込む水準まで元高が進んでいる。

先物は、人民元金利が若干上昇したことや中国政府の金融対外開放姿勢を確認した国外投資家が投資姿勢を積極化させていることから、スワップ幅は拡大しており、1年ものは1700台半ばまで拡大している。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.34%		2.11%
6M	2.34%	2.52%	2.11%
9M	2.33%	2.56%	2.13%
1Y	2.34%	2.61%	2.14%
3Y	2.51%	2.89%	2.33%
5Y	2.70%	3.14%	
7Y	2.85%	3.30%	
10Y	2.99%	3.47%	

債券利回りの上昇によりスワップ金利も小幅ながら上昇に転じているものの、引き続き小幅な値動きに終始。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも概ね横ばい推移となっている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。